

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援 さくらんぼ開成				公表日	2026年4月3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	利用児の発達段階に応じた活動スペースを確保し、安全に配慮した利用調整を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	こどもの状態に応じて職員配置を工夫し、丁寧な関わりができる体制を整えています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	視覚支援や空間の区分けを行い、こどもにとって分かりやすい構造化された環境を整えています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	整理整頓を心がけ、消毒や換気も徹底している	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じて個別対応ができるスペースを確保し、安心して過ごせる環境を整えています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	職員全体で目標設定と振り返りを行い、PDCAサイクルを意識した業務改善を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表をはじめとし送迎時のお話やLINE、電話、担当者会議等で把握し、職員間で共有している	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員の意見を定期的に把握し、支援内容や体制の見直しに活かしています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者評価はないが、他事業所や外部講師からの助言や評価を参考にし、支援の質の向上に努めています	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内研修にて法定研修をはじめとして研修を行い、資質向上を図るため各種研修の案内を行っている	受講機会もだが、書籍や動画を含めて積極的に取り組める環境設定を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムを作成・公表し、内容の透明性を確保しています	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	児童の状態に合わせたツールを使用してアセスメントを行い、適切な時期に評価を行い計画を作成している	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	担当者会議のもと、保護者及び本人の意向を踏まえ、検討を行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画書は書庫に保管し、個人個人でファイリングを行い確認できるようにしている。周知を行い、同じ方向性を持って支援を行っている	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	児童の発達段階に合わせた複数のツールを使用し確認と評価を行っている	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインを踏まえ、本人支援・家族支援・地域連携を意識した支援内容を設定しています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	活動内容は職員間で相談しながら立案し、チームで支援を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	活動が固定化しないよう、こどもの興味や発達に応じた内容を取り入れています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、無理のない支援を行っていますか。	8	0	個別活動と小集団活動を組み合わせ、無理のない支援を行っています。	都度変化する状況をスタッフや家族へ聞き取りを行い、支援に反映できるように努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前に打合せを行い、支援内容や役割分担を確認しています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	当日の反省点は教室ごとのSNSにて情報共有を行い、必要時はミーティング等で意見交換を行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の支援内容を記録し、支援の検証と改善につなげている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	主に児発管が参加し、情報共有を行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	関係機関との会議に参加し、情報共有と連携を図っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	移行支援会議等を行い、相互理解を図っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	就学前後の支援内容について情報共有し、支援の継続性を大切にしています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	連携を図り機会を設けることはできている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	地域との関わりを大切に、社会性を育む機会を設けています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日々の様子を保護者に伝え、共通理解を大切にしています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	保護者からの相談に応じ、家庭への助言や支援を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	見学や契約時にも説明を行うとともに、見やすく取りやすい位置に冊子を準備している。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	担当者会議での意見聴取をはじめ、意向確認は日頃より行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	支援内容を説明し、同意を得た上で支援を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	子育てに関する相談に対し、面談等を通じて支援しています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会等の開催は行っていませんが、個別の相談対応や助言を通じて、保護者への支援を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情や要望への対応体制を整え、適切に対応しています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	活動予定は月ごとのカレンダーを作成し、配布している。また広くSNSやHPで発信している	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報はファイリングして鍵付き書庫に保管を行っている。また顔写真等は同意を得たもののみ掲載し、配慮に努めている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	読みやすい文字や、絵カードを使って意思疎通のための配慮に努めている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	招待は行ってないが、おすそ分けなどの配慮にも努めより良い関係性を維持できている	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを整備し、必要な訓練も実地及び机上にて行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを策定し、非常時に備えた取組を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	健康状態や配慮事項を事前に確認し、支援に反映しています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食物アレルギー等については、保護者からの情報提供をもとに必要な配慮を行っています。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	計画を作成し、必要な提言や注意喚起、訓練を都度行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画作成時に家族へ周知し、連携等が図れるようにしている	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットは事業所内及び法人内で共有し、都度検討を行っている。	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止及び身体拘束適正化委員会で研修やセルフチェック等のスケジューリングを行い、実施している	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	虐待防止及び身体拘束適正化委員会で決定事項を説明、同意を得たうえで、別紙記載を行い、必要時は記録もとっている。また、事例情報のもと、支援検討も都度行っている	今後も引き続き、より良い支援環境の整備に努めてまいります	